

回 覧

松浪地区自治会連合会 会 長 櫻木 俊彦
松浪地区街づくり委員会 委員長 窪添 龍輝

各 位

平成15年度市民集会の報告

日頃は街づくりにご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、平成15年7月26日（土）午後1時30分より小和田公民館において「市民集会」が開催され、行政側より市長をはじめ教育長・関連部課長の出席がありました。

市民集会では、地域のより住み良い環境づくりをしていくために行政がやれること、住民が協力すること、すべきこと、できること、などについて熱心に討議されました。その主なものについて報告いたします。

なお、資料中の Q は質問、A は回答です。

日時 平成15年7月26日(土) 13時30分～16時30分

場所 小和田公民館講義室

司会 溝口優子・小野江 達人

挨拶 窪添 龍輝 街づくり委員長

街づくり委員会役員紹介・市側行政各担当出席者紹介

挨拶 服部 信明 茅ヶ崎市長

参加市会議員紹介

質 疑 応 答 (Q・質問、A・市側回答)

1. 地域コミュニティセンター(含む福祉施設)設置について

Q1 このことに関しては、平成15年度鶴嶺東地区にコミセンが出来ると、市の方針として、各地区に公民館若くはコミュニティセンターを設置することが完了する。その後の2巡目の位置づけでは松浪地区は優先度が高いと一昨年、昨年の市民集会でも回答をいただいているが、今日までの経緯と後期基本計画の見直しの中で松浪地区の位置づけはどうなっているのか明らかにしていただきたい。

小和田公民館は、市の1号館として設置され既に築24年経過しており、利用者も広く、多い。1号館としての先駆者的役割も十分果たし、170に及ぶサークル活動も利用者が多く、会場をとるのも大変な状況である。地域活動や自治会活動のための部屋を確保するのも困難であり、活動に支障を来たしている。一日も早い福祉施設を含むコミュニティセンターの設置を強く要望する。

A1 地域のコミュニティを図ることと、社会教育の場として各地区に公民館かコミセンをとということで進めてきて今年度鶴嶺東地区に設置されると、12地区の建設計画が一区切りを打つことになる。

現在、松浪地区を含む3地区からコミセン建設の要望が出ている。各地区の人口規模、公共施設の配置状況を考え合わせて、松浪地区は公共施設も公民館だけということでお困りの実情は十分認識しており、計画の中では優先順位は上位と考えている。後期基本計画ではコミセンの建設は入っているが、市の財政も厳しく建設の予算は約6～7億とみており、何時までにどこにという実施計画までにはいっていない。財政状況からみて建設は当面は困難と考えている。状況が打開されて建設することになれば福祉施設を入れた複合施設として作っていく。

当面は公民館の有効活用をさらにできるよう工夫をしていきたい。

Q2 添田市長のときに後期基本計画の見直しをするのでその際の松浪地区優先度は高いということだったのに、これでは後退ではないのか。見直しはどうなったのか。

A2 後期基本計画は2010年までの計画だが、その中から三ヶ年毎に事業をピックアップして実施計画を作って実施している。今、第二次の15～17年の計画に従って実施しているが、当松浪地区のコミセン建設の計画は入っていない。今度17～19年度の実施計画を16年度につくる。その中で検討していくことになる。

添田市長のときにはコミセンを作るとすれば松浪地区の優先度は高いと申し上げたが、義務教育施設の耐震工事の前倒しということも入ってきたので、コミセン建設を他の事業に優先するかどうかも含めて検討していきたい。

2. 松浪中学校校舎の全面建替えについて

Q1 建替え推進委員会の立場から、いろいろ紆余曲折あったが6月6日に市議会議長に陳情する形をとり、その後本会議で質問もされ、教育経済常任委員会でも審議され、結論として「継続審査」とされた。その理由は①お金がかかる（松浪中学校の建替えに47億かかる）、15～17年の第二次の実施計画の中で審議された中では総額516億の要望が出ていて、一般財源で賄うのは327億で、実際に予算化出来るのは85億、約25%にあたり、松浪中建替えの総工費47億、一般財源30数億ぐらいの金は捻出し難いということであった。②もう一つは、これは前市長の段階のもので、現市長は教育問題に造詣も深く、重視されているので、別のお考えでこの問題を処理されるかもしれないということで継続審査になった。今日も東北地方で地震があったが、いつこちらに地震がくるか分からない状況で、この問題は長引けば長引くほど危険なのでなるべく早くこの問題を処理願いたいと考えている。

この問題は最初の段階で、昨年市の方に二度要望書を出して、市長から松浪中に関しては全面改築に向けての努力と、合せて出来る限りの修繕を行うという文書による回答を頂いている。財政事情もその頃とあまり変わっていないのに何故いまこのような回答になるのかご説明頂きたい。また、最終解決として15年度に耐震補強工事の設計をやり16年度に耐震工事をやりその際にリフレッシュ工事を合わせてやるという方向で進んでいるが、これは全面建替えとの関係からいえば明らかに二重投資になると前市長も言うておられたが、このことは耐震補強工事とリフレッシュ工事を行えば二重投資になるので当分全面改修はやらないということになるというようなニュアンスに受け取れる、しかし緊急の耐震工事と全面改修は質が違うと思うのでご説明願いたい

市長さんの、教育問題としての松浪中の建替えのお考えもお聞かせ願いたい。

A1 松浪中学校の耐震工事は緊急にやらなければならないもの、リフレッシュ工事は将来に向けての補修工事ということよりもみなさんからお話のあった雨漏り、サッシ等の現状を考えやらざるを得ない工事という考え方です。

Q2 生徒・保護者・教職員の代表として、①本当に地震に大丈夫なのか、②PTA は子を思う結束力で今年 1 月に全面改修要望についての 12, 557 の署名を頂いたが、市は今後 PTA に何を望むのか、③本当に安心させてもらえるよう、これから何が何時行われるか細かい実施の計画を、市長から伺いたい。

現状としては、修繕したあとも雨漏りする、ひび割れもふえている、走ると床がぎしぎしする、図書館は本の重みで床が歪んでいる、年頃の生徒なのに更衣室もない不安でお粗末な現状である。

A2 財政上厳しい。教育委員会の立場から松浪中学校に限って言えば、学校教育の環境を良くしていくという観点で、校舎の現状や皆様の要望から全面改築を目指して努力してきたが、3月、6月の議会で議員さん方にも説明したように現実の問題として財政的に非常に厳しいという中で、耐震補強工事と大改修工事を合わせて実施するという方向で意志を固めている。松浪中も急がなければならないが、今、市内には耐震工事が必要な学校は 22 校・53 棟あり、これには概算 150 億必要と試算されている。これを 5 年で完了する計画であったが、市長のもっと早くならないかという指示で、子どもの安全第一という観点から他の予算の配分を若干削ってでも、前倒ししてもっと早く完了するようプランを立てている。

松浪中学校は鉄筋コンクリート校舎としては初期の校舎なので何とかしなければとは考えているが、今回のプランはまず安全確保のできる耐震工事、校舎の老朽化のために生徒・保護者・先生方の心配していることを改修工事の中で解決したいと考えている。改修工事の実例としては近々行われた市内の鶴が台小学校の二棟が改修工事をして、それなりに快適な環境になり、地震にも耐えうる工事をしている。この延長線上で松浪中学校に対しても、単なる補強工事ではなく概算 7 億円前後の費用をかけて工事をしたいと市長にお願いしているところである。

署名に関しては保護者のみならず、地域の方々の避難場所としての安全確保の意志と受け止めている。この耐震補強と改修工事で心配を取り除けると考えている。女子更衣室も無いという現状についてはいずれ体育館（現行の大きさでは狭いので文部科学省の基準を満たしていないし補助金も出ない、）にも手をつけなければならないので、その時には更衣室、地域の方々が使える部屋やその他の付属施設も織り込んで行きたい。現在子どもたちが困っている更衣については校長先生と改善について話し合っ行って行きたいと考えている。

A2-2 市長として就任して、まず感じたことは市の財政状況は予想以上に更に厳しいと、この3ヶ月で実感している。そういう中で市の行政として最低限やらなければならないこと、優先して取り組まなければならない課題として、私は市民の生命と財産をしっかりと守っていくという業務があると思っている。このことは、どんなに厳しい財政状況であれ行政として責任を持って取り組まなければいけないと認識している。

そういう中で市内の小中学校すべての耐震診断をすでに終えていて、診断結果からして大規模な地震に耐えられない校舎が教育長が述べた棟数だけある。このことが分かっているのにそれに手をつけないということは行政として許されないと思っている。当初5年間ですべての耐震工事をしていくという話だったが、私はもっと短い時間で解決して欲しいと指示をだしている。おおむね3年程度と言うところまで話をつめているが、そうした取り組みを何をおいてもしなければならないと思っている。市民の皆さんからお預かりしているお子様が学校にいたる間に大地震がきて校舎が倒壊して死傷者をだすようでは市として申し開きが立たないので一日も早くこの工事には着手し完成させたいと思っている。

そのために必要な経費は耐震工事だけで概算30数億とでている。それに合わせてかなり老朽化している昭和30年代の校舎はかなり大規模な改修をしなければならないと思っている。私も松浪中学校の校舎も見て、いろいろな課題があることは実感している。これらの校舎については耐震化に合わせて大規模な改修をしていかなければならないと思っている。これらを出来るだけ早く3年程度の中で納めていきたいと思っている。したがって、この地区から要望の出ている松浪中学校の全面建替えについては、しばらく着手できないのが実態である。この校舎の耐震化の他にも、市民の皆さんの生命・財産を守るという観点から、しなければならないことが幾つかある。5月の集中豪雨の際にも、この地域の方々にも迷惑をかけたように、雨水の対応も万全には整っていないので、これも当然優先して取り組んでいかなければならない。

こうした諸々のことを考えると、松浪中学校の全面建替えはかなり先の時期になると思う。今回の耐震工事に合わせて大規模な改修工事にしっかり対応して、その間生徒の皆さんが快適な中で授業が受けられるような整備の取り組みをしていきたいと思っているので是非ともご理解いただきたい。

前任の市長から引き継いだ事業も、リサイクルプラザ建設の事業の概ね5年程度凍結のように、厳しい判断の中で、市民の生命・財産を守るということを最優先させて事業化させていきたいと考えているのでご理解いただきたい。

Q3 孫が松浪中学校に二人通っている。宮城県出身なので昨日からの地震も気になっている。古い建物は崩壊している。松浪中学校も震度の強い地震では

んとに大丈夫なのか心配だ。耐震と建替えは根本的に違う。耐震は今ある建物を骨格・土台をそのままにして補強する工事なので、根本的に元から建替える工事でなければいけないと思う。全体の耐震工事を5年から3年に早めるのは結構だが、建てて40年以上の老朽校舎は建替えの時期にある。特に松浪中については市全体の校舎を調査した時に、耐震では駄目で建替えなければならない校舎の一つにあげていた。だから、市民の皆さんも、何とか見直しの中でと期待していたが、財政が厳しいから出来ないと言われても納得出来ない。確かに財政は厳しいが、市としても40年以上経った老朽化については年次計画を立てて、一番ひどいところから建替える、耐震のところも進めるという方針を持ってもらいたい。財政は厳しいが茅ヶ崎の自主財源は全国627の市の67位、財政力指数76位だから、厳しいけれども必要なものは借金してでも、松浪中だけでなく、小学校にも中学校にも40年以上経った校舎は根本的に建替えて安全を確保していくという観点を市政に生かして欲しい。

Q3-2 子供を通わせている市民として市の結論は残念だ。改修で30億、改築で40億という説明だったのに何故改修を選んだのか。また、建物を補強という形でやって強度はほんとに上がるのかきちんとした説明がないままでは不安だし納得がいかない。この場で説明出来なければこのことについては市のどこに行けば、誰がどういうふうに説明してくれるのか聞かせて欲しい。

(司会) 今の方の数字は内容が少し違って、市内の耐震工事全般で30億、松浪中のような大改修、リフレッシュ工事を含めると150億、松浪中の建替えに関しては45～47億、耐震工事と改修工事は合わせて7～8億という数字が出ています。

Q3-3 教育長、市長からも今回の工事の支出は二重投資になるとは考えていない、リフレッシュ工事についてもやらなければいけないものというお答えを頂いた。では実際にこの工事を行って、本当の建替えをいつ頃と考えているのか。コミセンの時にも2年前には松浪は次に作るトップにあるといていたのに去年はまだ2つの地区があって、3つのうちどの地区になるか分からないと言われた。松浪中学校は今のこの時点では建替えしないといけない学校のトップにあると思う。しかし、ここで耐震工事とリフレッシュ工事を行い、市内全部の耐震工事が終わって、これから建替え工事をしようというときに、松浪中学校は本当に一番手にくるのか、その時期はいつになるのか、市の学校全体を含めた中・長期計画はどの程度なされていて、松浪中がどこの位置にあるのか。

また、長期のことなので担当者や市長が変わると対応が変わるということでは困るのでその辺も含めて回答願いたい。

A3 まず耐震工事と改修工事が終わったら建替えの時期はどうなるかという質問ですが、私の認識では校舎の老朽化に合わせて、建築後たとえば50年とい

うようなラインをきって、そこを超えた所については建替えをしていくというような数値は、耐震工事を短時間に完了するという取り組みに合わせて、その中で何時からスタート出来るかという大まかな予定を行政として持たなければいけないと思う。もう一つここで大規模な改修をして快適な環境を作ることが出来れば8~10年は全面的な建替えは難しいと思う。その頃の時期から建築後50年という建物も出てくると思うので、全体の校舎の建替えのスケジュールを立てていくことになると思う。ただ、これからの人口動態も見極めて総合的に考え、建替えの時期についても大まかな計画をたて皆様にお示ししていくことになると思う。

技術的な面では、この耐震工事で本当に安全は確保されるのかを職員に確認した上で耐震化を進めていくという判断をしている。危険度は大規模な地震が来ても倒壊しないというところまで対応できると確認しているのでご理解頂きたい。

借金をしてでも取り組みをしたらという提案については、全国の600余の市の中での茅ヶ崎の借金の順位の話もあったが、その考えには賛同出来ない。他の自治体がどうであろうと、この街は自治体として責任を持って運営して行かなければならないし、今、市が持っている借金の額は限界ではないかと考えている。これ以上借金を重ねていけば返済するお金が借りるお金をオーバーしてしまうので危険極まりない話だと思っている。高齢化が進む中で税収の伸びも見込めないし、市の財政の柱である固定資産税も土地の価格の下落と共に下がっていく一面もある。そういうことから、今以上に借金を重ねてこの取り組みをするということには踏み込めない。市の財政に余裕があれば私も校舎を建替えたい、全部の学校の大改修もしたいが、それをし得る状況にはないということをご理解頂きたい。

A3-2 技術的な面で松浪中学校は平成7年に昭和36年度棟2棟、37年度棟1棟の耐震診断を行った。その結果、構造耐震指標値が0.29、平成8年診断の昭和40年度棟は0.52と判定された。県の基準の南関東沖地震、震度6想定に耐えうるIS値は0.7以上ということで設計段階で0.7以上の設計をすることで震度6程度の地震では大丈夫ということになっている。

Q4 市として小中学校の建替えについてどういう長期計画を持っているのかを知りたい。現在、市にはさわやかプランがあって1991年~2010年の20年間の計画で、このベースになっているのが地方自治法に基づく基本構想で20年ごとに策定することになっていて、現在は7年後の2010年までさわやかプランで決まっているが、この中には小中学校の建替え計画は全く入っていない。次の平成23年~42年にしか小中学校の建替え計画は入ってこないと理解しているのか。

Q4-2 体育館の建替えが出たが、松浪中学校の体育館は狭い敷地に建っていて今の1.5倍の大きさという文部科学省の補助金の基準を満たしていないが建て替えが現在の状況でできるのか。

A4 茅ヶ崎市の大きな計画は茅ヶ崎市さわやかプランがあって、2010年、平成22年までの大きな計画はこの中に盛り込んである。当然これが終わると次の計画をたてることになる。小中学校の建替えというのは茅ヶ崎の過去の人口増加から30年代、40年代、50年代当初までたくさん造ってきたので、建替えの時期がどんどん出てくるのが現実問題としてある。従って次の新さわやかプランを作る時は財政推計に基づいた学校の建替え計画を織り込んでいかなければいけないと考えている。2011年以降の計画の新さわやかプランの中には小中学校の建て替え計画をしっかりと財政の裏づけをもってつくっていかねばならないと思っている。

体育館については、まず市内の小中学校の耐震工事を若干の改修工事も織り込みながらなるべく早く実施しなければいけない。体育館は地域に何かあった時には第一に使わなければならない場所になりうるものが十分あるので、校舎が終わった段階で次は体育館の診断・補強、建替えも視野に入れなければならないと考えて、その前段の診断作業に手をつけ始めている。

先ずは子どもたちのいる校舎が最優先で、次に子どもも当然だが地域の人々の安全な避難場所と考えて体育館と考えている。松浪中学校ができた時は、まだまだ回りに畑や空き地があって、そのまま拡張出来るかと思っていたが現在はたくさんの民家が出来てそうもいなくなかった。現況の敷地の中で体育館を大きくし、校舎を全面建て替えるとなると運動場を狭めていかなければならないという現実問題がある。したがって、補強は必要ならやるが建替えまでは現在の体育館を使って頂くことになる。

3 道路、水路の整備について

Q1 富士見町の10番、11番の所に橋が架かっているところの道が持ち上がっていて具合が悪かったが、今直してもらっていて今度は大変良くなるのではないかと思う。3番の5叉路に車のミラーがついているが時々車が当たって方向が変わっていたが、早速直してもらってミラーの位置も上がってこれからは車がぶつかることもなくなると思う。

水路は下に傘が入ってつかえて水が溢れたが取り除いてもらって良くなった。道路の舗装のお願いで、茅ヶ崎からの鉄砲通りの平和学園から左に入った道路に面して小さな路地がある三叉路で道路があまりでこぼこしているので雨が降ったときは水がはねる、朝夕は車の交通量も多く通学の子供たちも困っているので、調査してもらって舗装を直してもらいたい。

A1 道路の舗装について要望のあった現場を見させてもらった。あの程度の所は茅ヶ崎にはどこにもあるので、優先度をどこにするかもあり、予算の範囲内で順次舗装して打ち替えをさせてもらう。現状は半面を打ち替えて補強しているの、でこぼこしている。年次を追いながらきれいに全面舗装で対応したい。雨の水が溜まる個別の場所については現場を見させてもらって対応したい。

Q2 桜道に歩道を両側に作ってもらって、それは結構なのだが、その歩道を作ってから車道に長い亀裂が生じている。特にひどいのは、ひばりが丘の信号から若松町の信号までの間、古い舗装道路と歩道を作ったときの新しい道路との間にひびが入っていて凹んでいるために雨の日は水が溜まって、車が通る度に歩道に水がかかる。歩道ができてからまだ2年なのに、そういう状態だから早急に何とかして頂きたい。

A2 現場を見せていただいて、出来るものであれば早急にやるが、構造的な面で難しい面もありそうなので、きちんと調べて対応したい。建設の設計のミスかどうか調べて対応する。茅ヶ崎には8000本の道路があるので、すぐにはいかないが、なるべく早く対応する。

4 高齢者対策について

Q1 一つは高齢者の移送サービスについて、今年度から介護保険が改定されて移送サービスが大変厳しくなって、介護保険に認定されていても要支援の方は移送できなくなった。大和市では移送サービスの構造改革特区の認定を受けてやっているが、私たち介護の会も介護保険の事業者にも参入しているがボランティア活動もずっとやっていて要支援の方でも単独では公共の交通機関を利用することは困難で、ボランティアではずっと移送サービスをやっている。大和市では住民・業者・行政で新しい公共の運営協議会のようなものを作って特区に認証されている。茅ヶ崎市でも高齢者が何処へでも出られるような移送サービスを考えて欲しい。

二つめは、私たちはデイサービスセンターを立ち上げてやっているが、土曜日は大変混雑している、こじんまりした施設だが高齢者がとても喜んで楽しみに来てくれている。茅ヶ崎にもこのような福祉施設がたくさんできて高齢者が外に出て安心して過ごせることを願っている。

A1 移送サービスには緑ナンバーと白ナンバーの問題があって、国土交通省からは高齢者の介護保険対象としての移送サービスは緑ナンバーでなければならぬとクレームがついて、介護保険計画のなかでも検討中である。そういう中で規制緩和の行政特区として大和市では白ナンバーでも移送できる特区を認定されたと報道されている。この特区を茅ヶ崎市でも規制緩和の特区にというご要望だが、国でも介護保険での移送ができるよう検討中と聞いており、茅ヶ

崎でも十分検討して参りたい。

次にデイサービスセンターを地域にたくさん作って欲しいという要望については、現在は特養ホームで実施しているのが現状であって、そういう中で特養ホームの無い所については行政が公設民営の形でケアセンターを設置している。これからも、そういう地区については公設民営の形でケアセンターの設置を考えていきたい。この地区の要望のコミセンの建設ができればその中で含めて考えていきたい。

5 公園の植木の管理について

Q1 浜竹三丁目の東公園が出来てから 15 年有余が過ぎているが公園課では一度も植木の手入れがなされず、止む無く町内の年 2 回の公園清掃の際に手入れをやってきた。今年 6 月にその手入れをしてごみが多く出たのでごみ収集事務所に連絡したところ。それは公園課の仕事だということで公園課から電話があった。その主旨は①公園は市の財産なので勝手にやられては困る。②公園は月に一回は巡回しているので不都合はない筈だ。③植木は手入れの方法があるので素人はやらないように、④手入れをしてもらいたい時は公園課に電話を、ということだった。

私も素人なので本職の植木屋に頼んで、自治会と自費で正しい手入れの方法を教わってその通りしてきた。月一回巡回していれば手入れ後の変化は一目瞭然の筈だ。行政を維持しているのは市民の税ではないのか。大変高飛車な態度で公僕意識の低下を感じ不愉快な思いをした。

赤松町の大きな公園では、長い間全然手入れをしないで、去年植木の手入れをした結果、丸坊主にされてしまった。あのような環境にも人にも残酷な手入れなら東公園の手入れは御免蒙りたい。

財政危機の折から住民の善意の協力を得られるなら、小さいことを一つ一つ積み重ねて善政を施す意志を市長はお持ちなのか、お考えを伺いたい。

A1 大変不愉快な思いをさせて申し訳ない。今のお話で内容がその通りであればもっての他だと思ふ。地域の公園を地域の方々に自主的に管理して頂く中で、例えばごみが出たというような場合には、すぐに行政が対応するというように進めていかなければならないと思ふ。これからも住民の思いと行政の対応をすり合わせていくよう内部の指導していきたい。

Q2 富士見町でも公園の木を年 2 回ほど切っているが、公園課のほうに切っただけとお願いした方がいいのか、今まで通り切ってしまう方がいいのだろうか。

A2 最初の質問の方にはずっと東公園の清掃・草刈・植木の手入れをしていただいていた。市では市民の方に公園をできるだけ管理していただきたいとい

う意味でボランティア制度を募集していて現在140箇所のうちでボランティアの届けが40数人いる。その中に質問された方は入っていないくて現場でボランティアの方がやっていたという認識が欠けていた、ボランティア制度に入っていればボランティア保険が適用になり公園の手入れの怪我などは対象になるというように行き違いがあったということで誠に申し訳なかった。二度とこういうことが起きないように職員にも徹底する。

次の質問の件は、市としては皆さんがお使いになる公園は皆さんで管理して頂きたいという考えで進めている。木の枝を切っていただくのも大変有難い。お手数でもボランティアの届けを出して登録していただければ、何かの時に保険も適用できるのでご協力願いたい。

Q3 ボランティア制度については広報で知らせるなり、自治会長の会合などで知らせるとかして募集するという形をとっているのか。全体にこういう制度があるということを知らせるようにして欲しい。

A3 市民活動保険制度があって、この中で公園の清掃その他の活動も対象になる、自治会活動としてやるのであれば届出や登録は必要なく適用になるが、個人としてやる場合は対象にならないので、自治会に自治会活動として清掃する旨を登録してやって欲しい。

広報ちがさきには掲載していることと、自治会の全体会で自治会長には説明しているが、これからも広報等で周知できるよう努力したい。

6、車椅子昇降機の設置について

Q1 この公民館を170のサークルが使っているが、高齢者も地域に密着して生活することがいつまでも元気に活動できる元になっている。この公民館には1階には部屋が少なく2階にたくさんあるのが障害者や高齢者で車椅子の方は2階に行くのが困難なので、エレベーターがあればいいのだがとりあえず高齢者が座ったままで2階まで上がる階段昇降機を階段に付けて頂けないだろうか。

A1 公民館に車椅子の方、高齢者の方において頂くのは大変嬉しいことだが、施設の面で補強されていないことを心配している。公民館の構造上エレベーターの設置は出来ないので何らかの方法で2階に上がる施設なり器具なりを考えている。手すり沿いにリフトのようなもの、車椅子ごと乗って階段をそろそろ上がっていく階段昇降機などを研究させて頂きたい。時期はなるべく早くということで来年度予算に大枠の中で認めていただければ来年度にも措置したい。

7、選挙投票所の増設について

Q1 浜竹四丁目に兵金山会館があり改築し去年1月に竣工した。竣工してす

ぐに選挙管理委員会に行き選挙投票所としてどうかと伺ったら投票所としてはクリアしていると言われた。今年の4月の地方選挙の時、投票率は50%いかなかった。組長会で今の投票所は年配の方には遠すぎる、兵金山会館はクリアしているので行き易いし、投票率のアップにもつながるのではないかという話しもでた。浜竹四丁目だけで約800、近隣の自治会も入れると2千票近く見込める。地域の利便性と投票率のアップも考えられるので兵金山会館を投票所として使えるようにしてもらえないか。

A1 現在、茅ヶ崎には47の投票所があり、一番有権者の多い所で8000人弱、少ないところで1500人弱、平均4550人となっている。今、ご要望のある33投票区の有権者の数は4450人で大体平均的な有権者数となっている。

要望の主旨はよく分かるが、今ある投票所で6000人以上の所が4箇所ありこの過大投票所をどうするか検討しているところで、ご要望の33投票所の分割増設までは困難ということでご理解頂きたい。兵金山会館は場所的にも良く、高齢者も増えているので投票率のアップにもなると思うが、過大投票所の解消という課題解決が済んでから、道路、自治会区分等も考えて検討していきたい。

8 広域避難場所の安全性について

Q1 広域避難場所に茅ヶ崎ゴルフ場が設定されている。ここは火災には適しているが、津波のおそれのあるような大地震の時には大変危険な場所になるのではないか。海岸の遊歩道に海拔6メートルの表示があって、ゴルフ場はそのすぐ傍なので、本当に大丈夫なのか。

A1 茅ヶ崎市には広域避難場所が7箇所あって、海岸線では県立西浜高校、茅ヶ崎公園、茅ヶ崎ゴルフ場と浜須賀小学校を含めた場所の3箇所を指定している。広域避難場所というのは地震等によって火災が発生した場合、その輻射熱から自分の身を守るために一時的に避難して頂く場所である。地震等によって家屋等が倒壊して自宅で生活出来ない方々が避難するのに小中学校31校を指定させていただいているのを避難所と言っている。

茅ヶ崎市に現在想定されている地震は、東海地震、神奈川県西部地震、南関東地震、神奈川県東部地震、かながわ国府津断層帯地震の5つあって、長期の想定断層帯地震を除いた4つの被害想定は平成11年の県の発表で津波で一番高いのが東海地震の3メートル程度（相模湾で2～3メートル、神奈川県西部地震では相模川河口で2～3メートル程度）と想定されている。

先ほど質問者の指摘のように茅ヶ崎市では海岸線のサイクリングロード16箇所に標高柱を立てている、134号線はそれより若干高く、脇には砂防林があるので3メートル程度の津波に被害は想定されていない。サイクリングロードのラチエン通り5メートル80、小和田浜公園6メートル、浜須賀歩道橋下6・1

メートル、なぎさ事務所下 5 メートル 80 と平均約 6 メートル程度なので、それを超えて水が住宅街に入ることはなく、広域避難場所としての茅ヶ崎ゴルフ場については心配ないだろうというのが市の見解である。

津波に対する警報の基準は、日本では 62 箇所以上の予報区が設定されていて茅ヶ崎市については相模湾三浦半島予報区に位置づけされている。津波の際の警報には大津波警報（3 メートル程度以上）、津波警報（2 メートル程度）、津波注意報（50 センチ程度）があって、警報が出れば TV 等でも流れる。

Q2 関東大震災の時の津波はどの程度だったのか。鉄砲通りまで水がきたとも聞いている。津波の高さというのは、標高とは違うのではないか。津波の場合、特に南風が吹いていると津波の高さに波高が加わってもっと高くなる危険があるのではないか。

A2 関東大震災では柳島に一部津波があった。3 メートルほどだったと考えられるが、当時はまだ 134 号線が出来ていないので若干水をかぶったものと思われる。鉄砲通りについては、今と現状が違い立証できない。確かに津波の高さと標高は違うかも知れないが、津波が何メートルのときどのくらいということも状況によって違うので一概には言えない。県の想定も最大 3 メートルという想定なのでその程度のものであれば市街地に被害を及ぼすことはないと考えている。

Q3 県の想定を基準にしていることは分かったが、茅ヶ崎ゴルフ場が火災のときは避難場所としては最適だが、津波の時には山の方に逃げるのが原則なので津波の際の避難場所として適当なのか、更に精査して欲しい。

A3 津波は押し寄せてくる早さが早く（通常、2～3 分、東海地震で 10 分程度）、広域避難場所まで逃げる暇はないと考えられる。したがって、地震によって火災が発生し、かつ風が強いと言うような時の避難場所に使われるのではないかと考えられる。広域避難場所は県の基準で広さが 1 万平米・約 3000 坪と決められているので、この地域には他にその広さの場所はないので、もっと北に取り替えるというわけにはいかないのが現状である。県の想定もさまざまな角度からの専門家の想定なので、さらに調査して変えるということは考えていない。

9 その他・フリー質問

Q1 先日の大雨で桜通り一帯が冠水したが、3 月、5 月と続いて家の方にもかなり水が入ってしまった。膝の上まで水が溜まっていて車も通れないので生活もかなり厳しくなった。掃除もしなければいけない、家具も移動しなければならぬという状況だった。市役所の方にかがったら、宅地化がかなり進んで雨水の逃げ場がどうしても一つに入ってしまう、本管の方の整備がまだされて

いないので溢れてしまうと言われた。本管の整備は10年、20年の単位の計画なので工事を進めることは早急には難しいという話だった。それも分かるが私たちの生活もあるので何とか見直して早急に予算も組んで工事の計画を進めてもらえないか。もし難しいようであれば、排水のところに雨水の土砂が溜まっている所の清掃とか、桜通りの側溝は上が外れないようになっているので水がスムーズに流れていくように定期的に管理、清掃をお願いしたい。

Q2 ごく最近、九州では想像を超えるような雨が降って災害も出ている。茅ヶ崎は水害は大丈夫と思っていたが、水災害についても考える時期にきているのではないかと。市では今まで水災害についてどの程度の計画を立て、検討されたのか、先日の大雨で市内の何箇所でもどの程度の被害が出たのか全般の状況と対策をどう考えているのか教えて頂きたい。

A1・2 3月にも強い雨が降り、先般5月31日は特に雨が多く降った。その際、松浪1丁目から浜竹2丁目の間は浸水した。台風の影響もあって海岸から松林、小和田方面、辻堂、藤沢方面が特に多く降った。その結果、気象庁の観測地点が辻堂に設置されていて、時間降雨量68ミリで観測史上最高だったと報道もされた。小和田出張所にも雨量計があって、そこでは101ミリを計測し私たちが想定できないような雨だった。この影響でこちらの海岸地域の雨水の幹線が整備されてない地域や低い地域、線路側もひどい被害があった。

全体では床上浸水が28棟、床下浸水が50棟あり、床下まではくることがあったが床上までくるのはあまり無いことだった。線路側では水が溢れ出して排水していた職員の腰まで水がきてポンプと車を避難させるような状況だった。茅ヶ崎市の雨水の排水計画は市の下水道事業計画に沿ってやっているが、排水基準は1時間あたり50ミリを排出・排除する施設を設けるということでこの数十年来やっている。一番下流の柳島ポンプ場へ、このあたりだと海に向かって雨水幹線が延びている。しかし、1時間50ミリを排水する基準なので、この前のような雨だと排水の能力を超えてしまう。したがって、ひどいところで土嚢を積んだり、職員の人海戦術で対応しているのが現状である。

こちらは、浜竹排水区になっていてバス通りの下に暗渠になるが3メートル角のボックスを、なぎさ事務所の横まで雨水管線を入れている。現在、浜竹雨水管線が進行中だが、道路の地下にはいろんな電気・ガス等の線、管が錯綜していて、それらの移設とか、土地の権利関係の解決などさまざまな問題があって、工事は捗っていないが戸塚・茅ヶ崎線を横切っているコンビニの付近までできている。引き続き幹線の整備に努力していく考えで進めている。

質問された方の地域の水路をこの幹線につなげていけば被害は相当少なくなると推測しているが、鋭意努力するのでもう少し時間を頂きたい。現在の水路の堆積物の清掃は、特にご指摘があればすぐに対応するし、定期的な点検も特

に被害の大きいところは重点的にやるので連絡して欲しい。

Q3 それほどひどくなくても水の溢れた所の消毒の計画についてどのようなになっているのか。また、みんなそのまま我慢しているところもあるが、PRはしてもらえるのか。

A3 床下浸水や道路上に下水が溢れてしまった所については、環境部で各家庭の消毒をする。道路上の問題については道路部なり建設部で清掃は行う。こういう大雨の時は、防災安全部が総括している。そこに臨時窓口を設けて電話や相談に日曜でも夜でも対応して、そこから下水道部や道路部へ至急の命令を出す手筈になっている。したがって、その後の問題についても情報を防災安全部か下水道部に連絡して頂ければ清掃等の手配は出来る。しかし、個々に連絡いただいても電話が錯綜してつながり難いので、できたら自治会長さんでまとめて連絡して頂ければ有難い。今回も連絡戴いたところから消毒にいったが連絡のあった周辺のどこまでやるかの判断はとても難しいので、水がひいたあとのことなので自治会長さんでまとめて連絡いただければトラブルもなくできる。基本的には床下浸水以上の処に消毒をしている。

出水が心配されるような所については、連絡いただければ市の方で無料で土嚢を配布するので、事前に対策を練っておいていただければ有難い。

今回のご指摘の場所の水路と側溝の土砂については、建設部と下水道部で共同して調査して対処する

Q4 今回、消毒の連絡があつて、実際に来るのが一日遅れた。お店をやっているので困った。

A4 今回はいろんな所で床下浸水がでた。当初、消毒したのは防災対策課や下水道の方に連絡があつた所から業者が消毒に当たったが、消毒に行った先でうちも、うちもということで範囲が広がった。委託している業者が1社だけで、それも消毒だけを専門にしている業者ではないので、消毒するのに若干時間がかかるのが現状である。なるべく早く対応しなければならない事柄なので、業者とも相談して早くできるよう努力する。

Q5 浜竹4丁目の1番地だが、やはり側溝が詰まっているが掃除は定期的に来てもらえるのか。こちらから連絡しなければ来てもらえないのか。

A5 場所等、区間を道路管理課の方に連絡頂ければ対応する。道路が6000本もあつて定期的に見回るのは困難なのでぜひご連絡頂きたい。

Q6 以前の集会で、汐見台のトンネルをでたところの海岸の遊歩道路付近に腰掛けて休む丸太を作ってもらつて、みんな喜んでいるが最近そのうちの1本が壊れている。お年寄りの方も散歩に出かけそこに腰掛けて談笑する人も増えているので、調べて補強、新設してもらえないか。

A6 県のなぎさ事務所の管轄なので、話をして改修なり新設なり願います。

Q7 茅ヶ崎市の学校教育、新学習指導要領への対応について伺いたい。

時間がないので、項目だけ述べる。後程でいいので書面で回答頂きたい。

- ① 茅ヶ崎市の学校の現状について、大学は私立の文教大学1校、高校中学は県立4校、私立高校1校、私立中学13校で、私立高校に入るのは難しいのが実情である。これについて市の学校行政の方針はどうなっているのか、②新指導要領で示されているのは学習の内容は最低限度で、学習項目も時間も減らされている。茅ヶ崎としては、どの程度に到達目標の限度を考えているのか、③去年の12月14日に教育長宛にこれに関連する質問を出して、24日に教育委員会としての回答をもらったが、具体的なことについては各学校の校長先生を支援しているとのことで、どこの学校がどんなことをしていて、どう支援しているのか、例えばこの地区の松浪小学校、松浪中学校についても住民として、保護者として具体的に分からない。④市の学校教育の責任者は、市長なのか教育長なのか教育委員長なのか。市の行政の構図を見てもよく分からない部分がある。

これらの4項目についてお聞きしたい。

A7 回答、街づくり委員会を通して文書で回答する。

(注) 8月22日付、市長名により文書で回答がありましたので、質問者にはお知らせしましたが、長文なので省略します。内容をお知りになりたい方は、窪添(85-3916)までお申し越してください。

閉会のことば 櫻木 俊彦 松浪地区自治会連合会長

記録・文責 街づくり委員会 木村 俊彦